

## 平成30年度 9月定例記者会見 会見録

日時 平成30年9月28日(金)午後3時～3時30分

場所 市役所2階第1特別会議室

(市長)

はじめに、北海道胆振東部地震で犠牲となられました方々、ならびにご遺族の皆様、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。現在、日本赤十字社で募集しております義援金を、地域福祉課やまちづくりセンター等でも受付しており、市民の皆様から、ご支援・ご協力をいただいているところでございます。被災された方々が1日でも早く日常生活に戻れるよう、必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

続きまして、本日、散会いたしました市議会9月定例会議についてでございます。9月定例会議につきましては、37日間のご審議をいただいたところでございまして、提案いたしましたすべての案件につきまして、ご議決をいただきました。議員の方々からは、平成29年度決算をはじめ、防災、減災に向けた取り組みや、子育て支援、教育環境の整備など、多岐にわたる質疑等をいただきました。市といたしましても、引き続き、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、ブラジル代表チームのテストキャンプについてでございます。東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプを本市で行うブラジル代表の女子バレーボールチームが、世界選手権への出場のために来日され、9月21日(金)から27日(木)の日程で市内でテストキャンプを実施しました。テストキャンプ初日には、歓迎セレモニーを開催し、選手の皆様に激励させていただきました。また、期間中は、代表チームと小学生と一緒に給食を食べたり、市民への公開練習が実施されたりするなど、選手を身近に感じる機会を設けることができました。ブラジルチームは、オリンピックの2008年北京大会、2012年ロンドン大会で金メダルを獲得した強豪チームであり、明日、9月29日(土)からの世界選手権でも、大いに活躍することを期待しております。

続きまして、10月20日(土)、21日(日)に相模総合補給廠一部返還地で開催いたします、「潤水都市さがみはらフェスタ」についてでございます。このフェスタは、政令指定都市に移行した平成22年度から実施している本市のシティセールスのシンボルイベントで、今年で9回目となります。市内14店が、自慢の味を競い合うラーメングランプリをはじめ、本市出身のバンド「キンモクセイ」の復活コンサート、高校生のダンスコンテスト、若手芸人たちによるお笑いコンテスト、銀河連邦各共和国による物産展など、様々な催しが予定されております。さらに今年は、楽しみながら障害者スポーツへの理解を深めていただく「さがみパラフェスタ」を同時に開催します。パラフェスタでは、サッカーの元日本代表やJリーグなどで活躍され、日本障がい者サッカー連盟の会長を務める北澤 豪さんや、本市南区在住で、車いすテニス ナショナルチーム監督の中澤 吉

裕さんなどによるトークショーのほか、車いすテニスやブラインドサッカーなど、パラスポーツの体験コーナーもあります。会場となる一部返還地は、南北道路と東西道路が開通し、より来場しやすくなりましたので、是非、多くの皆さんにご来場いただきたいと思います。

最後に、さがみはらスイーツフェスティバルについてでございます。昨年に引き続きまして、今年も、「推し土産スイーツ総選挙」を実施いたします。イベント公式ホームページからの投票のほか「潤水都市さがみはらフェスタ」の会場では、スイーツを試食しながらの投票も予定しております。投票された方には抽選で、市内の対象店舗で使用できるスイーツのお買い物券が当たるとのことなので、多くの方に参加していただきたいと思います。本市のスイーツは、大変レベルが高く、どこに出しても恥ずかしくない美味しい作品ばかりです。スイーツフェスティバルをきっかけに、本市の魅力が多くの方に伝わることを期待しております。

私からは、以上でございます。

(記者)

先日、伊勢丹相模原店閉店の発表を受け、市長からは閉店を残念に思うコメントを頂きましたが、改めて伊勢丹の閉店に対する所感と、今後のまちづくりに与える影響への配慮について、伊勢丹へどのような要望を行っていくのか教えてください。

(市長)

伊勢丹相模原店は、相模大野の商業やまちづくりを長年牽引していただいた百貨店ですので、突然の営業終了の決定を、大変残念に思っております。相模大野は、中心市街地がなかった本市において、本格的にまちづくりを始めた初めての地域で、昭和40年代から土地区画整理事業を実施しました。それに加え、昭和50年代半ばに米陸軍医療センターが返還され、国の対応では、「住宅・都市整備公団」、現在の「UR都市機構」が主となり、分譲や賃貸のマンション等の住宅開発を行い、基幹となる店舗として伊勢丹を誘致しました。自治体としては、神奈川県は県立高校を開校し、市は公園や文化ホール、図書館、メディカルセンターを設置しました。そして、地元の商店街は、町田や新宿など、周辺都市に流出する購買力を相模大野で止めるような商業機能を土地区画整理事業地内に集約する、このような計画案で進めてまいりました。その際、駅前からコリドー街を通り、文化ホールや公園に抜ける、このような連携を持ったまちづくりをしようと、伊勢丹の店舗の一部を利用者通路として、建物を建築していただきました。また、百貨店とは違う購買力を吸引する役割を持つ駅ビルや、個々の専門店舗としての役割を持つ従来からの商店街などを含め、回遊性のあるまちづくりを目指し、雨に濡れずに歩けるペDESTリアンデッキを設置するなどしてまいりましたが、その矢先の、伊勢丹の閉店ということで、大変残念に思っております。現在、閉店後の建物の取扱いについては何も決定されていないとのことですが、店舗や事業者が変わっても、我々はこれまでもまちづくりを行っていますので、伊勢丹相模原店には、市民生活や周辺のまちづくりへの影響について配慮していただくとともに、市と十分協議していただくよう、要望させていただきます。

した。今、小売業界は、インターネットの普及などで、購買方法はこの10年、20年で大きく変化しております。相模大野に伊勢丹が郊外型百貨店として開店した時代は、日本が高度成長し、可処分所得が増え、郊外にも潜在的な購買力があるにもかかわらず、対応する百貨店等が郊外になかったことから、戦略的に百貨店が郊外に出店しておりました。町田には大丸、東急、小田急という3つの百貨店があり、後に、大丸や東急も時代に合わせて変化してきました。相模大野の場合は唯一の百貨店である伊勢丹に頑張っていたきながら、我々も様々な商業機能、都市の基盤整備を進めてまいりました。我々自治体は、継続して広域的な市街地の整備、力強い、消費者対応が出来る商業地、これを進めていく必要がありますが、そこに入っている機能は、時代の変遷とともに変わりますので、それを読み切っていく、地域、又は本市全体が発展できる都市戦略やまちづくりをこれからも継続していきますので、店舗は伊勢丹ではなくなりますが、地元の皆さん方と作ってきたまちづくり計画、これに水を差すような計画にならないように頑張っていきたいと思っています。

(記者)

伊勢丹相模原店は、相模大野のまちづくりの核であったということですので、伊勢丹が閉店することで少なからずまちづくりに影響があると考えられます。戦略の練り直しを含め、今後どのようにアプローチしていくのでしょうか。

(市長)

今回の相模原店の閉店によって相模大野のまちづくりに対する市の考え方を改めるものではないです。都市の戦略としては、機能性や安全性、回遊性が基本となりますから、動線の確保や、文化センターや図書館、メディカルセンターとの連携等はまちづくりの戦略として行っています。昔は、駅が設置されるとその周辺が発展しておりましたが、今の時代は、有名な百貨店の伊勢丹や三越、高島屋などを誘致すれば、大都市の商業地になる、そういう昔型の考え方ではまちづくりはできませんので、これから10年、20年変わっていく中で、消費者ニーズや交通の利便性、安全性、回遊性などを考慮し、行政と地域がしっかり合意形成をしながら、都市戦略を持ったまちづくりを進める必要があると考えております。

(記者)

先日、清新小学校内にある「冒険の森」の一角に駐車場を整備する件で、中学生が工事中断を求める要望書を市長、教育長に提出しましたが、その所感と今後の対応について伺います。

(市長)

清新公民館が建設された当時から人口が大幅に増加したことから、建設当時は5台もあれば十分だった駐車場が不足しはじめ、数年前に10台程度に増やしたものの、依然として不足している状況にあります。さらに、公民館施設の老朽化が進行していることもあり、以前より公民館の建て替えについて要望を受けておりましたので、公民館の改修に関わる指針に基づいて、5年程前から、地元住民や関係者に検討していただく場を設け、計画を策定した経過があります。検討委員会では、

物品の搬入や、雨天時の事を考えると、駐車場は清新公民館に隣接する小学校の敷地内が最適ですが、子どもたちの運動や遊びに影響が少ない場所を選定する必要があり、冒険の森の一角に駐車場を作るという結論になったと伺っております。また、検討にあたっては、清新小学校のPTAをはじめとした学校関係者、自治会、公民館利用関係者の方々に報告をしていたと伺っております。ただ計画を承知されていない方もおり、冒険の森の木を伐採することで自然が減少してしまうことや、さらに子どもたちがずっと使ってきた居場所であることから、再考すべきじゃないかという声もいただいておりますので、検討委員会や関係者の中で作り上げた計画ではありますが、そういったことも踏まえ、駐車場について総合的に検証し、なるべく早く方向を決定し、公民館本体の整備に影響がないよう進めてまいりたいと考えております。

以 上